



帯広東ロータリー・クラブ会報

[2013-2014年度]

会長/梶川 融 幹事/高田 進 会報編集 メディア委員長/大塚 正昭

■創立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例会日：毎週火曜日 12:30~13:30

■事務局：〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel(0155)25-7347 ■例会場所：帯広ワシントンホテル Tel(0155)23-5111

第1397回例会 (2013年9月24日ⓧ 於帯広ワシントンホテル)

- ◎起 立 S A A 益子 君
- ◎友情の握手 S A A 益子 君
- ◎点 鐘 会 長 梶川 君
- ◎開 会 宣 言 S A A 益子 君

ロータリーソング

それこそロータリー



- 場 所 帯広発祥の地記念碑前(東9条南5丁目)
- ②R I 第2500地区大会開催のご案内
- 日 時 平成25年10月11日(金)~10月13日(日)
- 場 所 釧路市観光国際交流センター
- ③帯広東R C 10月15日(火)は休会と致します。
- ④帯広東R C 夜間移動例会(新入会員歓迎例会)開催のご案内
- 日 時 平成25年10月22日(火)午後6時30分
- 場 所 幕別パークホテル悠湯館
- *送迎バス発着場所：帯広ワシントンホテル
- 時 間：午後5時30分(例会前入浴可能)
- 会 費 3,000円
- 宿泊の場合は他に3,000円(朝食付)がかかります。

会長挨拶

梶川会長



今日で3ヶ月を終えようとしていますが、始まる前には色々心配不安等がありましたが、3ヶ月ほど立つと多少の不安は有りますけれどもこの場に立つことも慣れてきた気がします。年度初めには鎌田利道会員、久保謙一会員の退会があり不安な船出でしたが、8月には佐藤清仁会員の入会があり、あと少しで元の会員数に戻るまでに来ました。これからも会員増強に向け皆さんの協力をお願いする次第です。さて、時次年度の会長を決める時期が近付いて居ります。自薦、他薦其々適任と思われる方をご案内頂けると幸いです。

会務報告

高田幹事

- ①帯広東R C 移動例会(交通安全啓蒙看板除幕式)開催のご案内
- ・東クラブ創立30周年記念事業
- 日 時 平成25年10月8日(火) 午後0時

委員会報告

交通安全啓蒙看板除幕式について

宮前社会奉仕委員長

10月8日の交通安全啓蒙看板の除幕式ですが、午後0時に東9条南5丁目(帯広発祥の地記念碑前)にて行います。除幕式の後、会場をとがち館に移し会食となります。

尚、除幕式会場の駐車場は、会場より約200m札内方向に下がった旧北電の寮の跡地を借りて有りますので其方のほうに駐車をお願いします。



親睦活動委員会

12月10日の、年末家族会に会員の皆さんより事前のご意見、ご希望を聞かせて頂けたらありがたいです。

S A A

過日、過去3カ年分の活動報告書、例会メモ等の活動資料をとがち館に保管完了を致しました。

ニコニコ献金

古川親睦委員

- **高田幹事** 遠く名寄まで3日間ライラセミナーに行ってきた。青少年にはハードな3日間でした。



- **石川職業奉仕委員長**

先週のUDトラックス道東の、職場訪問例会無事終了しました。ご協力有難うございました。

- **鎌田国際奉仕委員長**

本日の例会プログラム担当です。大塚会員に表記の演題です。

- **阿部会員** 朝晩は、大分涼しくなってきました。
- **佐藤清仁会員** 先日は親睦委員会の集まりで当店をご利用頂き有り難うございました。ご満足いただけただか不安です。

出席報告

加藤出席委員長

- 9月10日 会員数39名
(内出席免除5名)
計算に用いる会員数34名
当日出席者23名+MC 2名
出席率 78.0%



- 9月17日 会員数39名
(内出席免除15名)
計算に用いる会員数32名 当日出席者25名+MC 1名
出席率 84.0%
- 9月24日 出席者22名

プログラム

国際奉仕委員会

「米山学友がつなぐ国際貢献」

大塚正昭

2005年～2006年の2ヶ年間、中国系マレーシア人ティール・フェイ・シャイの米山奨学生カウンセラーを務めました。その後のお話をさせていただきます。

彼女は帯広畜産大学獣医学部を卒業し、日本の獣医師免許を取得し現在福島県郡山に本社が有るゼノアック(旧日本全薬工業株式会社)に就職し現在に至っています。御承知の様に2011年3月の東日本大震災に遭い、一時期帯広で避難生活をしていました。現在は郡山にあった彼女の部署は東京神田に移り、都内での生活となっています。

彼女は、現在米山学友という立場ですが、達者な語学力を生かし日々企業人として国内外での活動をしております。今回、彼女がパークゴルフを海外(デンマーク)に紹介する懸け橋役を務めた事を話したいと思います。

事の発端は、学会、見本市、販売促進等でヨーロッパを度々訪れている中で、同業の獣医師であるデンマーク人のニコライ・アガー氏との出会いがきっかけとなっています。同業者とあって仕事の話はもちろんですが、世

間話もする中で、デンマークも福祉国家であるが高齢化が進み、国の医療費負担が増えている事が話題となったそうです。

彼女は高校2年生で来日し、1年間高校生活をしたのち帰国、その後、帯広畜産大学獣医学部に外国人特別選抜枠で合格、入学し6年間の学生生活をする中、数々の日本文化に触れ、体験をしてきたわけですが、その中に隣町幕別町が発祥のパークゴルフがあったわけですが、一つの話として話したところ、大変興味を持ってもらい、一度見たいとの事で2011年9月に来日、幕別町パークゴルフ発祥コースにてプレーを体験、その時の感触から自国でも出来るとの判断をされたようで、帰国後、所有地内に4コース36ホールを造成し、2012年8月にはプレ・オープン運びとなりました。この間、同年5月には幕別町にある国際パークゴルフ協会を訪れ国際規格認定コースの造成の指導を受けたり、大会実施に向けて運営指導講習等を受けたり、本格的な取り組みを終えました。本年6月22日にグランドオープンの運びとなりました。今回私は、彼女と彼女の親代わりである音更の佐藤ご夫妻、友人の松田氏、私の友人の田邊氏と、6名でグランドオープンセレモニーに出席して来ました。約200名の参加者があり、デンマーク初のパークゴルフ場がかなり注目度の高いことを知りました。又、この他にもコース造成計画があり、パークゴルフの普及が進むものと思われます。



今回この計画を立てたアガー氏に真意を訪ねたところ、ワイナリーを開設するにあたり、他と差別化を図るためパークゴルフと云う新しいスポーツを取り入れることにした。高齢者の皆さんにも比較的受け入れられやすく、楽しんでもらえる感触があった事だそうです。

私達が住む十勝で考案されたパークゴルフが、遠くヨーロッパの地で新たな芽吹きで大きく枝葉を伸ばす事を期待してやまない旅でした。

◎閉会宣言

S A A 益子 君

次週プログラム

10月1日(火)「会員卓話」

米山記念奨学委員会